



報道発表

2023年5月29日

Eurus Therapeutics 株式会社への追加投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）は、Eurus Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：能見貴人）に対する追加投資を実行いたしました。

○今回の投資の概要

Eurus Therapeutics は、新しい遺伝子治療に関するアイデアを基に 2021 年 2 月に設立されたバイオテックベンチャーです。CRISPR/Cas システムを使わない新規のゲノム編集技術を開発し、これまでにない治療戦略を提供可能な新しい創薬プラットフォーム事業の確立を目指しています。国立大学等の技術と知見を活用することで技術開発を行い、事業を推進しています。

遺伝子治療に対する新しい技術は CRISPR/Cas システムの発見を皮切りに、様々な遺伝性疾患への治療応用が進んでいます。一方、CRISPR/Cas システムの使用には技術面ならびに治療応用面での課題が依然として多く残っており、またビジネス面では米国の研究機関とライセンス契約を締結する必要があるため、国産の新しい技術の開発と治療応用が求められています。加えて、国内外問わず、独自の技術を有する企業が臨床入り前に大型の提携を成立させる事例が続いており、注目度が高い領域といえます。

Eurus Therapeutics は種々の新規コンセプトを試す中で、Cas のような外来性のタンパク質を用いることなく、シンプルかつ精密なゲノム編集を誘導可能な手法を確立しました。本技術を用いることで、CRISPR/Cas システムが抱える課題を解決することが可能であると考えられます。京都 iCAP は、Eurus Therapeutics の技術が世界のゲノム編集マーケットに大きな変動をもたらす可能性があるとして高く評価し、75 百万円の追加投資を実行しました。今回の調達額は総額 150 百万円で、京都 iCAP の他にニッセイ・キャピタル株式会社が運営する投資事業有限責任組合が参加しています。Eurus Therapeutics は今回の調達により、技術レベルの向上と疾患治療を目指した実証実験の完了を目指します。

Eurus Therapeutics 株式会社 概要

設立 2021年2月
事業内容 新規遺伝子治療法の開発



本社所在地 神奈川県藤沢市
代表取締役 能見 貴人 (のうみ たかと)

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016 年 1 月設立）と総額 180 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp